

表 10-1 悪性腫瘍-抗精神病薬

一般名	商品名	クロルプロマジン	レホプロマジン	フルフェナジン	ゾテピン	ハロペリドール	スルトブリド	リスベリドン	ルーラン	クエチアピン	オランザピン	アリピプラゾール	プロナンセリン
プロカルバジン(PCZ)	ナツラン	/ ↑	/ ↑	/ ↑									

表 10-2 悪性腫瘍-抗不安薬

略語	一般名	商品名	ジアゼパム	プロマゼパム	ロラゼパム	アルプラゾラム	エチゾラム	ヒドロキシジン
VNB, VNR	ビノレルピン	ナベルピン	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑
	イマチニブ	グリベック	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	ピカルタミド	カンデックス	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性

表 10-3 悪性腫瘍-抗躁薬

略語	一般名	商品名	炭酸リチウム	カルバマゼピン	バルプロ酸
GEM	ゲムシタピン	ジェムザール		↓	
IFN-β	インターフェロンβ	フェロン		/ ↑の可能性	

表 10-4 悪性腫瘍-抗うつ薬

略語	一般名	商品名	クロミプラミン	アミトリプチリン	アモキシサピン	マプロチリン	ミアンセリン	トラゾドン	フルボキサミン	ミルナシプラン	パロキセチン	セルトラリン
PCZ	プロカルバジン	ナツラン	/ ↑	/ ↑								
TAM	タモキシフェン	ノルバデックス、タスオミン									↓	

表 10-5 悪性腫瘍-睡眠薬

略語	一般名	商品名	クアゼパム	フルニトラゼパム	ミダゾラム	プロチアゾラム	ゾピクロン	ゾルピデム	トリアゾラム
PTX, TAX	バクリタキセル	タキソール			/ ↑				
VNB, VNR	ビノレルピン	ナベルピン	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑	/ ↑
	イマチニブ	グリベック	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	ピカルタミド	カンデックス	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性	/ ↑の可能性

◎:禁忌

↑:治療薬の作用増強

↓:治療薬の作用減弱

◇:向精神薬の作用増強

◇:向精神薬の作用減弱

その他

表 10-6 悪性腫瘍-その他

略語	一般名	商品名	トネベジル	フルマゼニル	phenytoin	PB	OBZ	VPA	ZNS	gabapentin	topiramate	lamotrigine
ADR, ADM, DOX, DXR	ドキシロピジン	アドリアシン			- / ↓	↓ / -	- / ↓	- / ↓				
BLM	ブレオマイシン	ブレオ			- / ↓							
BU, BUS	ブスルファン	マブリン			↓ / -							
OBDOA	カルボプラチン	パラプラチン			- / ↓			↑ / ↓				
CDDP	シスプラチン	プリアラチン、ランダ			- / ↓		- / ↓					
CPA, OPM, CY	シクロホスファミド	エンドキサン			↓ / -	↑ ↓ / -		↑ / -				
CPT-11	イリリテカン	カンプト、トポテシン			↑ ↓ / -	↓ /	↓ /					
IFM, IFX	イホスファミド	イホマイド			↓ / -	↑ ↓ / -						
MTX	メトトレキサート	メソトレキサート			↑ / ↑	↑ / ↑	↓ / -	- / ↓				
PCZ	プロカルバジン	ナツラン				↓ / ↑						
PTX, TAX	パクリタキセル	タキソール			↑ / -	↓ / -	↓ / -					
TAM	タモキシフェン	ノルバテックス、タソオミン			↓ / ↑	↓ / -	↓ / -					
TEPA, TT	チオテパ	テスパミン			↓ /	↓ / -						
TS-1, S-1	テガフル・ギメラシル・オチラシル	ティーエスワン			/ ↑							
UFT	テガフル・ウラシル	ユーエフティー			/ ↑							
VCR	ビンクリスチン	オンコピン			↓ / ↓	↓ / -	↓ / ↓					
VDS	ビンデシン	フィルデシン			/ ↓							
VLB	ビンブラスチン	エクザール、ビンブラスチン			/ ↓							
VP-16, ETP	エトポシド	ペプシド、ラストット			- / ↓			↑ / -				
5FU	カペシタピン	ゼローダ			/ ↑							
	イマチニブ	グリベック			↑ /	↑ /	↑ /					
	ゲフィチニブ	イレッサ			↓ /	↓ /						
	デキサメサゾン				↓ / ↑ ↓	↓ / -						
	ブレドニゾン				↓ / -	↓ / -						

◎: 禁忌

↑: 治療薬の作用増強

↓: 治療薬の作用減弱

♁: 向精神薬の作用増強

♂: 向精神薬の作用減弱

その他

表 11-1 膠原病-抗精神病薬

	クロルプロマジン	レボプロマジン	フルフェナジン	ゾテピン	ハロペリドール	スルトプリド	リスペリドン	ルーラン	クエチアピン	オランザピン	アリピプラゾール	プロナセリン
	CYP2D6	2D6	該当資料なし	1A2、3A4	2D6、3A4	記載なし	2D6 (3A4の関与も示唆)	CYP1A1、2C8、2D6、3A4 (最も3A4の関与が大きい)	3A4	1A2、2D6	3A4、2D6	3A4
	IF	IF	IF	IF	IF	IF	IF	IF	添付文書	IF	IF	IF
	エタノールの存在下で、肝のCYP1A2 による代謝が抑制される											
ブレドニゾン												
金子オリンゴ酸ナトリウム												
オーラノフィン												
ベニシラミン												
ブシラミン												
メトレキサート												
アザチオプリン												
シクロスポリン												
タクロリムス												
ミゾリピン												
シクロフオスファミド												
インフリキシマブ												
アダリムマブ												
エタネルセプト												
トシリズマブ												
リツキシマブ												
												φ(CYP3A4の競合によるとされるが、他の多くの向精神薬がCYP3A4で代謝されており、本薬剤のみ併用注意とされた理由は不明)

表 11-2 膠原病-抗不安薬

	ジアゼパム	ブロマゼパム	ロラゼパム	アルプラゾラム	エチゾラム	ヒドロキシジン	タンドスピロン
	主に3A4 2C19、2C9	該当資料なし	該当資料なし	3A4、3A5	2C9、3A4	3A4、3A5	3A4、2D6
プレドニゾン	IF	IF	IF	IF	IF	IF	IF
金子オリンゴ酸ナトリウム							
オーラノフィン							
ペニシラミン							
ブシラミン							
メトレキサート							
アザチオプリン							
シクロスポリン							
タクロリムス							
ミゾリピン							
シクロホスファミド							
インフリキシマブ							
アダリムマブ							
エタネルセプト							
トシリズマブ							
リツキシマブ							

表 11-3 膠原病-抗躁薬

	炭酸リチウム	カルバマゼピン	バルプロ酸
	該当資料なし	3A4	2A6, 2B6, 2C9
プレドニゾン	IF	IF	IF
金チオリンゴ酸ナトリウム		その他1)	
オーラノフィン			
ペニシラミン			
ブシラミン			
メトレキサート		その他2)	
アザチオプリン			
シクロスポリン	その他3)	↓	
タクロリムス		その他4)	
ミゾリピン			
シクロフオスファミド			
インフリキシマブ			
アダリムマブ			
エタネルセプト			
トシリズマブ			
リツキシマブ			

その他1)添付文書には記載が無いが、糖質コルチコイドの血中濃度を低下させることを示唆する報告がある
 その他2)添付文書には記載が無いが、メトレキサートのクリアランスを上昇させたという報告がある
 その他3)添付文書には記載が無いが、併用により血中尿素窒素およびクレアチニン値が上昇したとする報告がある
 その他4)添付文書には記載が無いが、タクロリムスの血中濃度を低下させたとする報告がある

表11-4. 膠原病-抗うつ薬

	クロミプラミン	アミトリプチリン	アモキサピン	マプロチリン	ミアンセリン
	2D6 (CYP1A2, CYP3A4, CYP2C19 も関与していると考えられている。)	2D6	該当資料なし	2D6	1A2, 2D6, 3A4
	IF	IF	IF	IF	IF
プレドニゾン					
金チオリンゴ酸ナトリウム					
オーラフィン					
パニシラミン					
ブシラミン					
メトレキサート					
アザチオプリン					
シクロスポリン					
タクロリムス					
ミゾリビン					
シクロフオスファミド					
インフリキシマブ					
アダリムマブ					
エタネルセプト					
トシリズマブ					
リツキシマブ					

表 11-5 膠原病-睡眠薬

	クアゼパム	フルニトラゼパム	ミダゾラム	ブロチゾラム	ゾピクロン	ゾルピデム
	2C9、3A4	該当資料なし	3A4	3A4	3A4、2C8	主3A4 一部2C9、1A2
	IF	IF	添付文書	IF	IF	添付文書
			※ブロチアゾラムからブロチゾラムに変更			
プレドニゾン						
金チオリンゴ酸ナトリウム						
オーラノフィン						
ペニシラミン						
ブシラミン						
メトレキサート						
アザチオプリン						
シクロスポリン						
タクロリムス						
ミゾリビン						
シクロホスファミド						
インフリキシマブ						
アダリムマブ						
エタネルセプト						
トシリズマブ						
リツキシマブ						

表 11-6 膠原病—その他

	シアナミド	ドネペジル	フルマゼニル	ダントロレン	バルビツール誘導体	フェニトイン
	該当資料なし	3A4、2D6	該当資料なし	記載なし		
	IF	IF	IF	添付文書		
糖質コルチコイド					↓	↓⇕
金チオリンゴ酸ナトリウム						
オーラノフィン						⇕
ペニシラミン						
ブシラミン						
メトレキサート					その他7)	その他7)
アザチオプリン						
シクロスポリン					↓	↓
タクロリムス					その他8)	その他8)
ミゾリビン						
シクロフォスファミド						
インフリキシマブ						
アダリムマブ						
エタネルセプト						
トシリズマブ						
リツキシマブ						

その他7)添付文書には記載が無いが、メトレキサートのクリアランスを上昇させたという報告がある
 その他8)添付文書には記載が無いが、タクロリムスの血中濃度を低下させたとする報告がある
 その他9)活性体であるphosphoramid mustardの濃度を増加させる

表 12-1 代謝内分泌薬-抗糖尿病薬

作用機序	商品名	作用	クロルプロマジン	レボプロマジン	フルフェナジン	ソチペン	ハロベリドール	スルトグライド	リスベリド	ベロスピロン	クエチアピン	オランザピン	アリピプラゾール	プロナンセリン	禁忌
インスリン抵抗性改善薬	ピオグリタゾン	アクトス													↑: 治療薬の作用増強
	アカルボース	グルコバイ													↓: 治療薬の作用減弱
αグルコシダーゼ阻害薬(αGI)	ボグリボース	ベイスン													↑: 治療薬の作用増強
	ミグリタール	セイブル													↑: 治療薬の作用減弱
ビッグナイド薬	プロミン	ジベトS	↓	↓	↓										その他
	メトホルミン	メルピン メット	↓	↓	↓										
インスリン分泌促進薬	トルブタミド	ラスチノン													
	グリメピリド	アマリール													
	グリクランド	グリミクロン	↓	↓	↓										
	グリベンクラミド	オイグルコン ダオニール	↓	↓	↓										
	ナテグリニド	スターシス フアスティック	↓	↓	↓										
	ミチグリニド	グルファスト	↓	↓	↓										
	インスリンアスバルト	ノボラビッド													
	インスリンリスプロ	ヒューマログ													
	生成成ヒト中性インスリン	ペンフィルR、ノボリンR、インレットR													
	ヒトインスリン	ヒューマカートR、ヒューマリNR													
インスリン製剤	二相性プロタミン特異性インスリンアナログ水性懸濁液	ノボラビッド30ミックス													
	インスリンリスプロ混合製剤	ヒューマログミックス25、50													
混合型	生成成ヒト二相性インスリン水性懸濁液	ペンフィル10R・20R・30R・40R・50R、ノボリン10R・20R・30R・40R・50R、インレット10R・20R・30R・40R・50R、ヒューマカート3/7、ヒューマリN3/7													
	中間型インスリンリスプロ	ヒューマログN													
中間型	生成成ヒトインスリン水性懸濁液	ペンフィルN、ノボリンN、インレットN													
	ヒトインスリン水性懸濁液	ヒューマカートN、ヒューマリN													
持続型	インスリングルラルギン	ランタス	↓	↓	↓										

表 12-2 代謝内分泌疾患-抗うつ薬

			TCA	マプロチリン	ミアンセリン	トラゾドン	フルボキサミン	ミルナシプリン	パロキセチン	セルトラリン	◎:禁忌	
インスリン分泌促進薬	スルホニル尿素(SU)系薬	トルブタミド								↑	↑:治療薬の作用増強	
		グリメピリド										↓:治療薬の作用減弱
		グリクララジド										○:向精神薬の作用増強
		グリベンクラミド										◇:向精神薬の作用減弱
インスリン製剤	超速効型	インスリンアスパルト	↑	↑							その他	
		インスリンリスプロ	↑	↑								
	速効型	合成ヒト中性インスリン	↑	↑								
		ヒトインスリン		↑								
	混合型	二相性プロタミン結晶性インスリンアナログ水性懸濁液		↑	↑							
		インスリンリスプロ混合製剤		↑	↑							
		合成ヒト二相性インソフェンインスリン水性懸濁液		↑	↑							
		中間型インスリンリスプロ		↑	↑							
		合成ヒトインソフェンインスリン水性懸濁液		↑	↑							
		ヒトインソフェンインスリン水性懸濁液		↑	↑							
持続型	インスリングラルギン		↑	↑								
	プラバスタチン		↑	↑								

表 13-1 呼吸器薬-抗精神薬

		一般名	商品名	クロルフロマジン	フルフェナジン	ゾチピド	ハロペリドール	スルトプリド	リスベリドン	ルーラン	クエチアピン	オランザピン	アリピプラゾール	プロナセリン	その他	◎ 禁忌
気管支拡張薬	β 刺激薬	プロキニファン、塩酸エフェドリン、フェニハルジプロパリン、塩酸エフェドリン、塩酸イソバネリン、ナスカピン、塩酸ジフェンヒドミン含有	アストモリジン(配合薬)	○↑	○↑											↑: 治療薬の作用増強
	チオフィリン薬		アストフロリン(配合薬)	○↑	○↑											↑: 治療薬の作用減弱
気管支喘息治療薬	抗コリン薬															○: 治療薬の作用増強
	吸入用ステロイド															○: 治療薬の作用減弱
	ヒスタミンH1受容体拮抗薬															○: 治療薬の作用増強
	メチルエーテル誘導体拮抗薬															○: 治療薬の作用減弱
	ヒスタミンH1拮抗薬															○: 治療薬の作用増強
	トロンボキササンA2阻害薬															○: 治療薬の作用減弱
	トロンボキササンA2拮抗薬															○: 治療薬の作用増強
	ロイコトリエン拮抗薬															○: 治療薬の作用減弱
	Th2サイトカイン阻害薬															○: 治療薬の作用増強
	乳糖性呼吸刺激薬															○: 治療薬の作用減弱
呼吸促進薬	中枢性呼吸刺激薬															○: 治療薬の作用増強
	麻薬拮抗薬															○: 治療薬の作用減弱
	肺サーファクタント															○: 治療薬の作用増強
	注中粒エラストーゼ選択的阻害薬															○: 治療薬の作用減弱
	炭酸脱水素酵素阻害薬															○: 治療薬の作用増強
	リン酸コチン		リン酸コチン	○↑	○↑											○↑: フェニチアジン
	リン酸ジヒドロコチン		リン酸ジヒドロコチン	○↑	○↑											○↑: フェニチアジン
	オキゲンメチルパニール		メチルパニール	○↑	○↑											○↑: フェニチアジン
	リン酸ジヒドロコチン、塩酸エフェドリン、塩化アンモニウム		セキコチ	↑	↑											↑: フェニチアジン
	リン酸ジヒドロコチン、α-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸アルブエニラミン		フスコチ	↑	↑											↑: フェニチアジン
リン酸ジヒドロコチン、α-塩酸メチルエフェドリン、ジプロパリン、サリチル酸ジフェニルエトラミン、アセチルサリチル酸、プロピルピロリド		カフコチ-N	↑	↑											↑: フェニチアジン	
α-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸アルブエニラミン		ネオアス	↑	↑											↑: フェニチアジン	
塩酸メチルエフェドリン、塩酸ジフェニルエトラミン		アストリン	↑	↑											↑: フェニチアジン	
去痰薬	塩酸去痰薬															
	刺激性去痰薬															
	気道分泌促進薬															
	気道粘液溶解薬															
	気道潤滑薬															
痰液補助薬	表面活性剤															
	生薬															

表 13-2 呼吸器疾患-抗不安薬

	一般名	商品名	ジアゼパム	プロマゼパム	ロラゼパム	アルプラゾラム	エチゾラム	ヒドロキシジン	タンドスピロン	その他
β 刺激薬										
吸入用ステロイド										
メチルエーター遊離抑制薬										
ヒスタミンH1拮抗薬	フマル酸ケトフェチン	ザジテン							↑	中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	塩酸アゼラスチン	アセブチン							↑	中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	オキサトミド	セルテクト							↑	中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	メキタジン	ゼスラン							↑	中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	塩酸エピナスチン	アレジオン							↑	中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
末梢性呼吸刺激薬										
中枢性呼吸刺激薬	フルマゼニル	アネキセート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎: 禁忌										
↑: 治療薬の作用増強										
↓: 治療薬の作用減弱										
◇: 向精神薬の作用増強										
◇: 向精神薬の作用減弱										
その他										

(BZで長期てんかん治療中、BZ投与中の重症頭部外傷、頭蓋内圧亢進には慎重投与)

表 13-3 呼吸器疾患-抗躁薬

		一般名	商品名	炭酸リチウム	カルバマゼピン	バルプロ酸
気管支拡張薬	テオフィリン薬	テオフィリン	テオドール、テオロングなど		◇↓	
		プロキシフィリン、塩酸エフェドリン、フェノバルビタールの合剤	アストモリジン(配合薬)		◇	◇
呼吸促進薬	炭酸脱水素酵素抑制薬	アセタゾラミド	ダイアモックス			◇
◎: 禁忌						
↑: 治療薬の作用増強						
↓: 治療薬の作用減弱						
◇: 向精神薬の作用増強						
◇: 向精神薬の作用減弱						
その他						

表 13-4 呼吸器疾患-抗うつ薬

	一般名	商品名	クロミプラミン	アミトリプチリン	アモキサピリン	マプロチリン	ミアンセリン	トラゾドン	フルボキサミン	ミルナシプラン	パロキセチン	セルトラリン	その他	
気管支拡張薬	テオフィリン	テオドール、テオロングなど							↑					
	テオフィリン薬	プロキファイリン、塩酸エフェドリン、フェニルヒスタールの石剤 ジプロファミン、塩酸エフェドリン、塩酸バババリン、ノスカピン、塩酸ジフェンヒドラミン含有	○↑、○	○↑、○	○↑、○	○↑、○	○↑、○				○			
抗アレルギー薬	メチルエーター遊離抑制薬	クロモグリク酸ナトリウム												
	ヒスタミンH2拮抗薬	メキタジン												
呼吸促進薬	末梢性呼吸刺激薬	塩酸トキサブラム												
	中枢性呼吸刺激薬	ジモルホラム												
		フルマゼニル	アネキセート	B2と併用時に抗うつ薬の中毒作用増強	B2と併用時に抗うつ薬の中毒作用増強	B2と併用時に抗うつ薬の中毒作用増強	B2と併用時に抗うつ薬の中毒作用増強	B2と併用時に抗うつ薬の中毒作用増強						
		リン酸コチン	リン酸コチン	↑	○↑	○↑							○↑三環系	
鎮咳薬	中枢性麻薬性鎮咳薬	リン酸ジヒドロコチン	○↑	○↑	○↑								○↑三環系	
	中枢性非麻薬性鎮咳薬	ヒペンス酸チベジン												
		嵌皮エキス、リン酸コチン	アスベリン											
		リン酸ジヒドロコチン、塩酸エフェドリン、塩化アンモニウム	濃厚プロトンコチン											
	鎮咳去痰薬	リン酸ジヒドロコチン、dl-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸クロルフェニラミン	セキコチ	↑	↑	↑								↑三環系
		リン酸ジヒドロコチン、dl-塩酸メチルエフェドリン、ジプロファミン、サリチル酸ジフェニルドラミン、アセトアミノフェン、ブロムフレリル尿素	フスコチ	↑	↑	↑								↑三環系
		dl-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸クロルフェニラミン	カフコチ-N	↑	↑	↑								↑三環系
		塩酸メチルエフェドリン、塩酸ジフェンヒドラミン	ネオアス	↑	↑	↑								↑三環系
		ニコチン	アストリン	↑	↑	↑								↑三環系
			ニコチンNDS											
禁煙補助薬														
◎:禁忌														
↑:治療薬の作用増強														
↓:治療薬の作用減弱														
○:向精神薬の作用増強														
○:向精神薬の作用減弱														
その他														

表 13-5 呼吸器疾患-睡眠薬

一般名	商品名	クアゼパム	フルニトラゼパム	ミダゾラム	プロチアゾラム	ゾピクロン	ゾルピデム	その他
ヒスタミンH1拮抗薬	フマル酸ケトフェチン							↑◇中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	塩酸アゼラスチン							↑◇中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	オキサトミド							↑◇中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	メキタジン							↑◇中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
	塩酸エピナスチン							↑◇中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤等)
中枢性呼吸刺激薬	フルマゼニル	アネキセート	◎	◎	◎	◎	◎	◎
◎: 禁忌	(BZで長期てんかん治療中、BZ投与中の重症頭部外傷、頭蓋内圧亢進には慎重投与)							
↑: 治療薬の作用増強								
↓: 治療薬の作用減弱								
◇: 向精神薬の作用増強								
◇: 向精神薬の作用減弱								
その他								

表 13-6 呼吸器疾患-その他

	一般名	商品名	シアナミド	ジスリフラム	ドネベジル	フルマゼニル	ダントロレン	その他
β 刺激薬	塩酸エフェドリン	塩酸エフェドリン						↑ MAO阻害薬、甲狀腺製剤で交感神経刺激作用の増強
	d,l-塩酸メチルエフェドリン	メチエフ						↑ MAO阻害薬、甲狀腺製剤で交感神経刺激作用の増強
テオフィリン薬	テオフィリン	テオドール、テオロングなど		◇				◇フェノバルビタール、◇↓フェニトイン
	アミノフィリン	ネオフィリン		◇				◇フェノバルビタール、◇↓フェニトイン
	プロピキシルリン、塩酸エフェドリン、フェノバルビタールの合剤	アストモリジン(配合薬)		◇				◇↑ 飲酒、MAO阻害薬、甲狀腺薬、中枢神経抑制薬、抗ヒスタミン薬、フェノバルビタール、◇↓フェニトイン
	ジプロピリン、塩酸エフェドリン、塩酸ババペリン、ノスカピン、塩酸ジフェンヒドラミン含有	アストフィリン(配合薬)						↑ MAO阻害薬、甲狀腺薬、◇中枢神経抑制薬、軟酒
ヒスタミンH2拮抗薬	メキタジン	ゼスタン					↑ ◇フェノバルビタール・アルコール(酔気)、MAO阻害薬(口渇・排尿困難)	
茶褐色性呼吸刺激薬	塩酸トキサブラム	ドフラム					↑ ◇ MAO阻害薬で血圧上昇	
炭酸脱水素酵素抑制薬	アセタゾラミド	ダイアモックス					フェニトイン、フェノバルビタールとの併用でケル病、骨軟化症が出現したという報告	
中枢性降圧薬性鎮咳薬	リン酸コデイン	リン酸コデイン						バルビツール酸系薬剤、MAO阻害薬、アルコールとの併用で過鎮静と呼吸抑制、抗コリン作用を持つ鎮咳剤との併用で便秘～痔瘻性イレウス、尿閉
	リン酸ジプロココデイン	リン酸ジプロココデイン						バルビツール酸系薬剤、MAO阻害薬、アルコールとの併用で過鎮静と呼吸抑制、抗コリン作用を持つ鎮咳剤との併用で便秘～痔瘻性イレウス、尿閉
	オキシメチルハニール	メチハニール						バルビツール酸系薬剤、アルコールとの併用で過鎮静と呼吸抑制
中枢性非降圧薬性鎮咳薬	臭化水素チキストロトルファン	マジコン						◎ MAO阻害薬
	リン酸ジプロココデイン、塩酸エフェドリン、塩化アンモニウム	セキコチ						↑ 甲狀腺製剤、MAO阻害薬、アルコール、中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、抗コリン剤
鎮咳去痰配合薬	リン酸ジプロココデイン、d,l-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸クロルフェニラミン	フスコデ						↑ 甲狀腺製剤、MAO阻害薬、アルコール、中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、抗コリン剤
	リン酸ジプロココデイン、d,l-塩酸メチルエフェドリン、ジプロピリン、サリチル酸ジフェンヒドラミン、アセトアミノフェン、プロムフレリル	カアコデ-N						↑ 甲狀腺製剤、MAO阻害薬、アルコール、中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、抗コリン剤
	リン酸ジプロココデイン、d,l-塩酸メチルエフェドリン、ジプロピリン、マレイン酸クロルフェニラミン	ネオアス						↑ 甲狀腺製剤、MAO阻害薬、アルコール、中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、抗コリン剤
	d,l-塩酸メチルエフェドリン、マレイン酸クロルフェニラミン	アスリン						↑ 甲狀腺製剤、MAO阻害薬、アルコール、中枢神経抑制剤(バルビツール酸誘導体等)、抗コリン剤
◎ 禁忌								
↑ : 治療薬の作用増強								
↓ : 治療薬の作用減弱								
◇ : 向精神薬の作用増強								
◇↓ : 向精神薬の作用減弱								
その他								

表 14-2 抗菌剤-抗不安薬

					ジアゼパム	プロマゼパム	ロラゼパム	アルプラゾラム	エチゾラム	ヒドロキシジン	タンドスピロン	その他
ストレプトグラミン系	キヌプリスチン・ダルホプリスチン(QPR/DPR)	シナシッド						◇				
	リファンピシン(RFP)	リアファンジン		◇								
	テラビルジン	レスクリプター						◇				
	インジナビル(IDV)	クリキシバン						◎◇				
	サキナビル(SQV)	フォートベイス						◇				
	リトナビル	ノービア						◎◇				◎:クロラゼパムニカリウム
	ロピナビル・リトナビル	カレトラ										
	ネルフィナビル(NFV)	ビラセプト						◎◇				
	ホスアンブレナビル	レクシヴァ						◇				
	ミコナゾール(MCZ)	フロリード						◇				
イトラコナゾール(ITCZ)	イトリゾール						◇					
◎:禁忌												
↑:治療薬の作用増強												
↓:治療薬の作用減弱												
◇:向精神薬の作用増強												
◇:向精神薬の作用減弱												
その他												